

東京都臨海副都心にて信号横断支援実証実験を実施

日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦）が参画する、交通事故未然防止支援研究開発コンソーシアムは、視覚障がい者の歩行支援技術による信号横断支援の実証実験を実施します。

本実証実験は視覚障害者信号機横断プロジェクト、日本科学未来館、株式会社コンピュータサイエンス研究所、株式会社Ashirase、東京都市大学都市工学科稲垣研究室と協働し、実施するものです。

交通事故未然防止支援研究開発コンソーシアムは、2023年度（令和5年度）から、内閣府の取り組みである「戦略的イノベーション創造プログラム（SiP）第3期／スマートモビリティプラットフォームの構築／リスクの事前通知による交通事故の未然防止支援の研究開発」プロジェクトに参加しています。

本プロジェクトでは、交通事故の死者の多くが交通弱者であることに着目し、リスクを事前に通知することで、交通参加者の行動変容を促し、誰もが自由に移動できる空間を構築することを目指しています。

今回の実証実験では、各社が提供するアプリケーション/サービスが、高度化PICS※と連携する機能を実装し、公道環境下におけるシステム成立性、および当事者による実用性評価を実施いたします。

※高度化PICS…Pedestrian Information and Communication Systems の略。スマートフォン等に対して歩行者用信号情報（交差点名称や歩行者用信号機の状況）を音声等で提供するとともに、スマートフォン等の操作により青信号の延長を可能とするシステム。

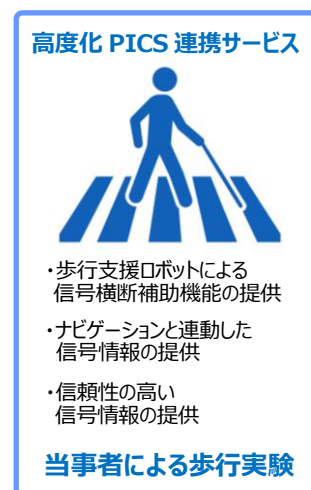
< 実証実験概要 >

期間：2026年2～3月

開催場所：東京都臨海副都心(青海エリア)

実験内容：公道環境下におけるシステム成立性の検証、および当事者による実用性評価

※本実証実験は一般公開の予定はございません。



問い合わせ先

日本信号株式会社

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

総務部 Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail info@signal.co.jp